

地域コミュニティの重要性

わかすぎ学園那珂市立第四中学校 八年

いちゃんお

岩永美桜 女

私には、五月になると必ず行く場所があります。それは地域の子供会が運営している花壇です。

「今年はどんな花が咲くんだろう」と「どんなデザインだろう」とわくわくしながら見に行きます。

私は、小学校高学年の時に、立候補してそ

の花壇のデザインを担当したことがあります。どんな花が花壇に向いているのかを自分でインタビューしたり、お花屋さんに実際に行って質問したりしました。分からないことが多く、思っていた以上に大変でした。そんな中、自治会の役員さんに花壇作りに詳しい方がいて、分からないことや大切なことなどを丁寧に教えて下さいました。いよいよ花壇作りの日が決まると、花がきれいに、長く咲くようにと、地域の皆さんが

花壇の草や石を取り除き、腐葉土を入れて事前に準備して下さいました。そのおかげで、イメーヅしていた通りの花壇を作ることにができて、完成した花壇を見て、それまでの苦勞が報われた感じがしました。

花壇ができること、子供会で水やり当番があります。自分の家から花壇まで水を運んで行かなければならなかったのだ、ぶり水をあげられませんでした。夏場に少し枯れてしまった花があり、原因は水やりが不足していた

るのではないかと自治会の方が心配して下さいました。事情を話すと、花壇の近隣で井戸のあるお家を探して下さって、その井戸を自由に使わせていただけると言うに話をしておりました。それから、ホースをつないで水やりが出来るようになった。ぶり水をあげられるようになります。また、花壇の手入れをしていると、花壇に糞やされていりよなと声をかけて下さる方もいます。

このように花壇運営を通して、地域の方に
 協力していただき、関わりを持つことができ
 ました。

水やりだけでなく廃品回収の時に地域の方
 は協力して下さり、たくさんの方のアルミ缶や
 段ボールが集まります。ある方は、
 何も手帳无存いけい、捨てないで取ってお
 いて廃品回収に出すからね。
 と声をかけて下さいました。また、地域の行
 事がある時には、

子供会など行事があると予定表に書いてあ
 り、優れたいに感じて嬉しくなります。自分の
 生まれ育った地域で、親切な方々に囲まれて
 生活していいところを実感します。
 今度、私の住む地域にコミュニティセンター
 1ができてます。地域の学びの場、交流の場に
 なり、これからたくさんの方と触れ合うこと
 とができてくるのだと思うと期待しています。
 しかし、以前は自治会の数だけあり、大子供

会です。が、生活スタイルの変化が少子化の影
 響により、今では数えられるほどしか存いと
 聞きます。存続している子供会でも、会員数
 の減少に歯止めがかかりません。そのため、
 地域の行事の縮小を余儀なくされ、ふれあい
 の機会は減少していきます。それは、地域の皆
 が協力して、次世代を担う子供を育てる、と
 いり子供会の目標が達成できないというこ
 に存ります。子供会は那珂市の伝統文化であ
 る大助げやしを継承する役割も担っています。
 また、年齢の異なる仲間たちと活動すること
 により、上級生は下級生の面倒を見て、下級
 生は上級生をお手本とします。このような活
 動を通して、世代ごとの役割を自覚して活動
 できるようになりま。さらに、地域の子供
 たちが元気に楽しく活動することにより、地
 域を盛り上げ、活気を与えることもできます。
 そうすると、地域全体に笑顔がふられます。
 日頃のコミュニケーションは、災害時の連携
 や防犯にもよい効果を期待できるでしょう。

ですが、現実には来年の子供会の存続さえ危
 けらなない状況です。これからも地域の子供大
 ろが元気に活躍し、コミュニケーションの中で支え
 合って生活していくために、時代の変化に合
 わせて、それぞれの世代がコミュニケーションを守
 り、受け継いでいく必要があると思えます。
 私自身も、これからコミュニケーションの活動に
 積極的に参加し、支えってもらう側から他者を
 支えりやる存在になれるようにしていきたく
 と思います。そしていうまでもなく、地域の

花壇では、きれいな花とたくさん笑顔を見
 られることを願っています。